

再生医療実現拠点ネットワークプログラム
疾患特異的 iPS 細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム
研究開発課題評価（令和 5 年度実施）
事後評価結果

研究開発課題名	iPS 細胞を用いた希少疾患の研究促進のための研究者マッチング
代表機関名	国立大学法人京都大学
研究開発代表者名	齋藤 潤

1. 総合評価

良い

【評価コメント】

3 年でマッチングが成立した 32 件の共同研究課題のうち、29 件で共同研究が継続、21 件がその後の研究費を獲得しており、本課題が希少疾患研究のプラットフォームとして機能したことは評価できる。アウトリーチ活動も積極的に実施していた。倫理審査の支援（各課題の希望により、共同研究に係る倫理審査を京大にて一括審査実施）を行ったことは、研究のスムーズな進捗に役立ったと評価される。しかし、知人間でのマッチングにとどまっている可能性もあり、今後はより開かれた環境を提供できる取り組みが期待される。難治性疾患の治療薬開発に繋げるため、企業のマッチング参加や企業からの資金の受け入れなどは今後検討すべき課題である。